

日本教材学会 公開研究会のお知らせ

主体的・対話的で深い学びをどのように創るか

新しい学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が強調されています。現行の「言語活動の充実」が、感想を話し合う程度の浅い学びになってしまったからかも知れません。「主体的・対話的で深い学び」は過去において「問題解決学習」などで試みられています。しかし、児童生徒の内面にしみこむような深い学びはなかなかできないのが現状です。どのような手立てを講じれば深い学びを創ることができるのでしょうか。そもそも深い学びとは何なのでしょう。私たちの「主体的・対話的で深い学び」プロジェクトでは、こうした問いを基に「主体的・対話的で深い学び」をどのように創るかを追究しています。今回は二人の先生に研究発表をしていただきます。詳しくは下記の通りです。皆様のおふろってのご参加をお待ちしております。参加は無料です。

日時 平成 29 年 10 月 5 日 (木) 午後 6 時 00 分～8 時 00 分

場所 東洋大学白山キャンパス (東京都文京区白山 5-28-20)

8 号館 7 階 125 記念ホール

< 研究発表 >

・ 満島夏実 氏 日能研 研究開発本部

「テストにおいて主体的・対話的で深い学びを実現するための研究—算数のテストを用いて—」

・ 渋谷 聡 氏 星槎大学 共生科学部 准教授

「対話的深い学びを意識した教育実践演習 (保健体育編)」

入場は無料です (会員、非会員を問わず)



< 問い合わせ先とアクセス >

日本教材学会 プロジェクト代表: 下田好行 (東洋大学文学部教育学科、yshimoda@toyo.jp)

○ 都営地下鉄三田線「白山」駅 A3 出口から正門・南門徒歩 5 分、A1 出口から西門徒歩 5 分

○ 東京メトロ南北線「本駒込」駅 1 番出口から「正門・南門」徒歩 5 分